

ごあいさつ

『山の都ふれあいコンサート』

実行委員長 中澤 一浩

今年も「山の都ふれあいコンサート」の開幕です。1981年から始まって今年はなんと40回目です（今回はオンラインですけれど）。そして今年のテーマは「会いたい」です。では何故「会いたい」というテーマなのでしょう。そうです、新型コロナウイルスのために、誰もが思うように会ったり言葉を交わしたりできなくなったからです。とても残念なことですね、悲しいことですね。でも、残念がってばかりはられません、悲しがってばかりもられません。だってそうでしょう。私たちは事実この世界に生き、そしてこれからもこの世界でしっかり前を向いて生きて行くのですから。

「フレコン」も同じです。これまで40回切れ目なく歩んできたのです。コロナだからとここで歩みを止めるわけにはいきません。むしろ、新たな歩みに繋げて行くために今回の開催があると考えます。40回開催という歴史は「ふれコン」にとって資産であり宝物です。その宝物を礎にこれからも躊躇なく前に進んでいきます。障害のある方も健常者の方もこれまで同様、いやこれまで以上に手を携えて。

来年は40年目、41回を迎えます。ここにご支援ご協力をいただいている皆様方に改めてお礼を申し上げますと共に、新たな展開に際しましても変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

YCC県民文化ホール支配人 村井 豊

本日は「山の都ふれあいコンサート」にご参加いただき厚く御礼申し上げます。

山の都ふれあいコンサートは、1981年の「国際障害者年」をきっかけに生まれました。今年で40回目を迎える予定でしたが、新型コロナの感染拡大防止のため今回はオンライン配信での開催となりました。こうして新しい形で開催できることは実行委員会の皆様方の熱意と創意工夫のおかげと深く感謝申し上げます。今後もさらに回を重ね、より多くの皆様にふれあっていただくことを願ってやみません。

今年はホールでのライブ演奏や事前にお送りいただいたビデオでの構成となります。

参加してくださるメンバーの皆さんの力強い演奏やそこから生まれる感動に期待が膨らみます。こうして山の都ふれあいコンサートが、若い参加者たちの力で山梨に新しい文化を創造していくことを期待しています。

また今回は宙先（そらさき）案内人の高橋真理子さんにご参加いただき、「星つむぎの歌」の特別演奏とナレーションでお楽しみいただきます。さらに「ふれコン」のあゆみをまとめたスライドショーの配信もあります。

どうか最後までご参加いただき、多くの人々の輪が広がっていくことを期待しています。

～今年のコンサートは～

文学座 望月 純吉

ライブ映像インターネット配信に初挑戦です。これまでも、ふれあいコンサートはあゆみを止めることはありませんでした。もちろん、コロナでも止まることはありません。ですから、今年もみんなが一緒に支え合いながら歌を歌えます。私は「挑戦し続けること」を、ふれコンから教えてもらっています。

そして、改めて40年という年月の重さと「絆」の強さに驚いています。

今年も楽しんでいきましょう！